

団体名	スペシャルオリンピックス日本・岡山		
代表者	会長	松田 久	記載者 事務局長 坂本 進
所在地(市区町村名のみ)	岡山市中区藤崎		
活動目的	知的障がいのある人たち（アスリート）に年間を通じて、オリンピック競技種目に準じたスポーツトレーニングの場を提供し、参加したアスリートが健康を増進し、勇気をふるい、喜びを感じ、家族や他のアスリートそして地域の人々と才能や技能そして友情を分かち合う機会を継続的に提供すること。		
団体の紹介	1962年、故ケネディ大統領の妹ユニス・ケネディ・シュライバー夫人が自宅の庭を知的障がいのある人たちに開放して開いたディキャンピングが始まります。 知的障がいがあっても、スポーツを心から楽しむチャンスを提供したいという彼女からの願いを込めたこの運動は、ジョセフ・P・ケネディ財団の支援のもと1968年に組織化され、「スペシャルオリンピックス」となり、全米をはじめ、世界へ広がっていき、1988年には、国際オリンピックス委員会（IOC）と「オリンピック」の名称使用や相互の活動を認め合う議定書を交わしています。現在、180ヶ国以上の国と地域が加盟し、約400万人以上のアスリートと①00万人以上のボランティアが活動に参加しています。 日本では1994年に活動を開始し、現在では約8,000人のアスリートが47都道府県の地区組織に所属し、活動に参加しています。 岡山県では、2005年1月にスペシャルオリンピックス日本・岡山（SON・岡山）を設立しました。現在は230名を超えるアスリートがボウリング・水泳・陸上・テニス・バドミントン・卓球・馬術・フロアホッケー・アルペンスキー・ボッチの10競技と2歳から7歳の子供たちを対象としたヤングアスリートプログラムを実施しています。		
助成を受けての活動内容	上記の各競技を毎月2回程度のプログラム活動を実施し、健康増進と技術レベルの向上を図っています、何よりもルールに基づいた活動が基本とされるスポーツを通じて、ルールを順守し、多くの人たちとの交流を通じてかれらの社会性を育むことを狙いとしています。 毎年、日頃の活動の成果発表の場として、各競技の岡山地区大会を実施します。 (地区大会が実施されない競技については、他地区の競技会に参加、又は日頃のプログラムにおける発表会・記録会を実施) ※2017年度は、卓球競技・ボウリング競技・水泳競技・陸上競技・バドミントン競技（テニス競技は台風の影響で中止）の5競技の競技会を実施しました。（競技会の模様は添付写真参照願います） ※2017年度の地区大会は、2018年9月に開催されるナショナルゲーム（愛知大会）出場の選考会を兼ねています。 地区大会及び記録会の成績が、ナショナルゲーム出場の選考基準となります。 ※又、2018年のナショナルゲーム（愛知大会）は2019年アブダビ（アラブ首長国連邦）で開催されるワールドゲームの選考会となります。 スペシャルオリンピックス日本・岡山 事務局 ☎086-200-1155 Fax086-200-1260 e-mail : son_okayama@son.or.jp H/Phttp://blog.livedoor.jp/son_okayama/		
助成を受けての成果	2017年度の地区大会（5競技の競技会）を安全に、事故もなく開催出来ました。参加アスリート238名を含む811名が競技会に参加し、日頃の練習成果発表の場を楽しみました。毎年着実に実力を付けてきていることを実感しました。 ボランティア・ファミリーの運営への参加体制が出来上がってきて、スムーズな運営が出来るようになってきた。 又、他地区からのアスリートの参加も大会を盛り上げることとなりました。		
今後の活動の課題点	1. 実施競技が増えてきているので、運営スタッフの負担が増えてきたことに対する対策が急務。 2. 競技会が多くなり、又、日程が込み合ってくるとボランティアの確保に課題がある。 （ご支援いただく企業・団体および大学連携を強化していく必要がある。） 3. 競技会だけではなく、日常のプログラム運営に対する資金的な充足が必要。 4. 会場の確保（日程調整他）		
問い合わせ連絡先もしくは、ホームページアドレス(加入希望の方などへのお知らせなど)	スペシャルオリンピックス日本・岡山 事務局 ☎086-200-1155 Fax086-200-1260 e-mail : son_okayama@son.or.jp H/P http://blog.livedoor.jp/son_okayama/		

※ このページは、財団ホームページや印刷物などで公表される資料として使用される場合があります。
A4用紙1枚程度におまとめください。(他の報告書との重複可)
写真・チラシ・パンフレット(PDFもしくは、画像)等を添付していただいても結構です。

2107年 第10回スペシャルオリンピックス日本・岡山地区大会

【卓球競技の部】

6月3日（土）：岡山市障害者体育センター

丁度、ドイツ デュッセルドルフで世界選手権が開催されている時に、第4回目の卓球競技地区大会を開催しました。24名のボランティアの方にお手伝いいただき、大変盛り上がった大会となりました。



【水泳競技の部】

6月25日（日）：コーシンボウル

瀬戸内市のコーシンボウルで開催された今年の地区大会は、松田会長に加えて瀬戸内市の武久市長が激励に駆けつけていただき、アスリートに熱い応援メッセージをいただきました。又、今年も邑久吹奏楽団による演奏で表彰式を盛り上げていただきました。



【陸上競技の部】

10月1日（日）神崎山公園陸上競技場

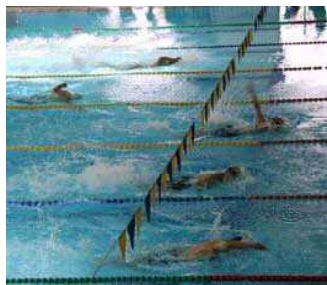
秋晴れの空の下、今年も岡山の3チームにSON・高知、SON・香川からのアスリートを加え63名が参加しました。台風を心配していましたが最高のコンディションのもと精一杯力を発揮しました。



【水泳競技の部】

6月18日（日）：児島マリンプール

今年の水泳競技地区大会は、毎年参加のSON・香川に加え、初めてSON・広島からの参加もあり、総勢63名と過去最高のアスリートが日頃の練習の成果を発揮しました。午前中の予選に続き午後からは決勝です。25m、50mは出場者も多く、タッチ差の熱戦をくり広げました。ファミリーも観客席から大声援！



SON・愛媛からの強豪チームを迎え

32名のアスリートが参戦！

岡山市役所と両備HDのバドミントン部の方に審判をお願いしました。アスリートの総合司会も立派に出来ました。



【バドミントン競技の部】

10月15日（日）岡山市総合文化体育館サブアリーナ

